



特定非営利活動法人

いきいきまちだ

会報第2号

2004.5.30

<http://www.geocities.co.jp/NatureLand-Sky/3762/>

NPO 2年目のスタートにあたって

特定非営利活動法人いきいきまちだ

会長 向井弘善

1. はじめに

特定非営利活動法人いきいきまちだは、めでたく満1歳の誕生日を迎えました。

今年の総会を行う5月30日は、たまたま昨年当会がNPO法人として登記された日、即ち当会の設立記念日に当たります。会員各位の熱意とボランティア精神に支えられて順調にスタートが切れ、明るい将来展望の中で2年目を迎えることができたことに感謝したいと思います。

2. 昨年度を振り返って

この1年間色々な活動を進めてきました。活動状況については、田中副会長の活動日誌やホームページに詳しく紹介されていますのでここでは簡単に振り返ります。

里山・里地の保全事業では2月に成瀬及び三輪の雑木林保全管理業務を町田市から受託したのを始め、ぬぼこ山本宮など民間の竹伐採も手がけ、最後は町田市の谷戸山管理技術者養成講座へ3人（野島、山田、山科各氏）の講師を派遣するまでに至りました。

公園管理事業では、凶師日陰坂下公園森林部分の管理受託を目指して整理、清掃、落ち葉かきさらに周辺町内会との話し合いを行いました。

農業体験事業も上小山田地区での畑の確保により活動が定着化してきました。野菜類の日常活動やイベントでの利用、会員及び一般への販売も始まりました。凶師日陰坂下公園での落ち葉かき、椎茸などきのこ類の培養などへと活動も拡大しています。

イベント事業では、恩廻公園調整池記念行事、わいわい祭、さくらまつりなどへ出店したほか高齢協野外イベント及び高齢者健康生きがいふれあい講座の共催などを行いました。

さらに、将来のイベント事業の柱となる自然・健康・文化・観光など多目的イベントのモデル事業として「健康ハイキング」を4月に実施しました。

これらの活動を通して、①会として大きくまとまったこと ②経済基盤を確立することができたこと ③色々なノウハウを学ぶことができたことはNPOいきいきまちだとして大きな財産になったものと思われま

3. 当面の課題

昨年度の活動を踏まえ今年度の活動を進めるにあたって、次のような反省点や課題があります。

- 1) 活動の拠点である事務所がない。
- 2) 法人としての体制としてまだ不十分な点が多い。（諸規定類の整備、理事会の運用など）
- 3) 定期的に出す予定の会報が1回切りで終わってしまった。
- 4) イベントや活動予定が長期的、計画的に設定されていない。

5) 現在の炭焼窯が宅地開発により使用できなくなった。

6) メンバー相互のコミュニケーションが足りない。

など様々な課題を抱えています。今後の活動を通して或いは活動の指針として改善を図っていく必要があると思います。

4. 今年度の活動の進め方

NPOいきいきまちだは5月30日の総会を境に2年目の活動に入ります。

今年度は、役員人事を刷新し新しい体制のもとにNPO体制の定着と事業の拡大発展を図ります。

16年度の事業計画は別途提示しましたが、その推進にあたっては①役割分担の明確化 ②事業計画やスケジュールの明示化 ③内外の広報活動の強化 ④経済活動特に継続性のある経済活動の展開 ⑤事務局体制の整備など総合力の強化が伴わなければなりません。

特需依存のテンポラリーな経済活動ではなく、継続的、計画的な経済活動を基盤とした会の運営ができるよう努力していきたいと思っています。

5. おわりに

当会の経済基盤はNPO以前に比べて桁違いに強化された反面、NPOとして体制維持のための事務コストや社会的責任は増大しています。NPOとしては、一定規模の経済活動を展開して自前の事務所を持ち事務員を雇用することが望ましい姿と思われますが、当会はまだそこまでは至っていません。従って、当面の会の運用には会員相互の連携と気配り、そして知恵とボランティア精神が欠かせません。

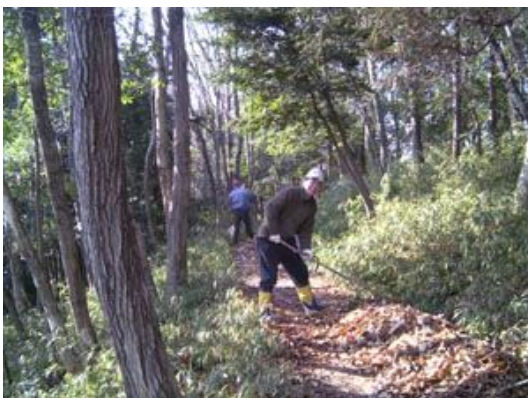
脱ボランティアも夢ではなく現実の目標に近づいてきています。その日を目指して会の総力を挙げて頑張っ
て行こうではありませんか。



10月19日 わいわい祭に出店しました



12月25日 餅つきをしました



1月18日 日影公園での落葉かき



2月9日～ 竹の伐採作業を受注